

奉仕で届けたもの
授かったもの

財団と奉仕事業について

福井フェニックスRC
松原六郎

アーチ・クランプ会長 と1916-17年度理 事会

上列(左から):

F. W. ガルブレイス・
ジュニア

E. レズリー・ピジョン
チェスリー R. ペリー
ガイ・ガンディカー

下列(左から):

アーチ C. クランプ
アラン D. アルバート



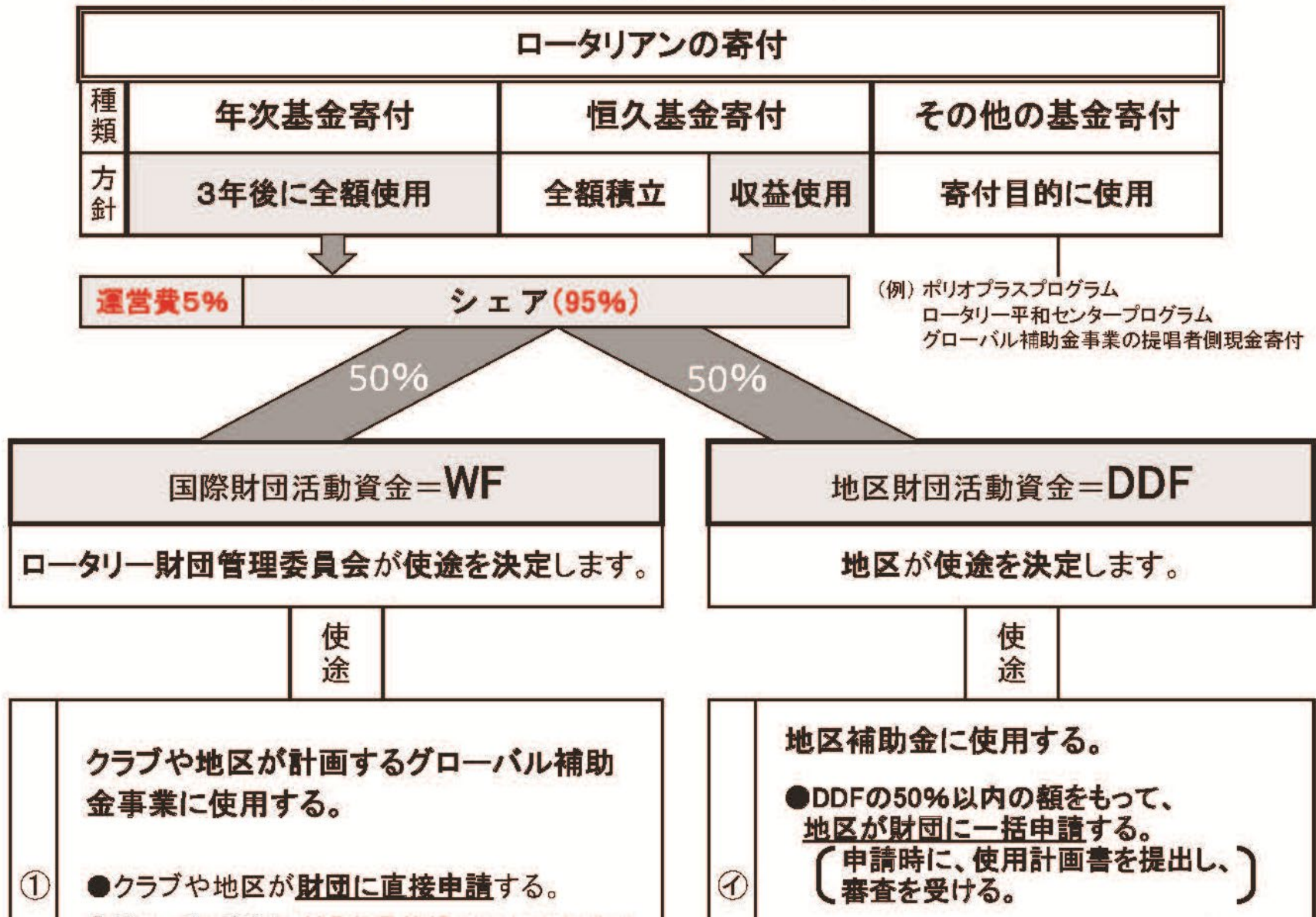
アーチ C. クランフ

1869年6月6日,米国ペンシルバニア州カヌートビルという小さな町に生まれました. 子どもの頃,一家はオハイオ州クリーブランドに転居し,クランフはここで1911年にクリーブランド・ロータリークラブの設立会員となりました.1913年にはクラブ会長となり,奉仕活動の資金を確保するためにクラブが積立金を設けることを提唱しました.



1. シェアシステム

- ・年次基金寄付は、3年後に国際財団活動資金(WF)と地区財団活動資金(DDF)に、**運営費として5%が引き出されたあとで、WFとDDFに均等に二分されます。**
- ・恒久基金寄付は、**収益のみ**がシェアに基づき配分されます。



	使 途
①	<p>クラブや地区が計画するグローバル補助金事業に使用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●クラブや地区が財団に直接申請する。 ●グローバル補助金: 対象総予算額: \$3万～\$40万 ●DDF資金に対しWFからの上乗せを、 100%から80%に引き下げ、 現金拠出への上乗せは廃止
②	ロータリー平和センタープログラムに使用する。

●3年の資金サイクル

財団では、地区が十分な時間をかけてプロジェクトを計画・選択できるように、また、投資収益を運営費(寄付推進費と一般管理運営費)に充てることできるように計画された3年間の資金サイクルを採用している。地区からの年次基金(シェア)への寄付は、3年間投資され、3年後、**運営費として5%が引き出された後**、寄付の47.5%が国際財団活動資金(WF)に、47.5%が地区財団活動資金(DDF)となる。財団は、WFとなった資金を、すべてのロータリアンのための補助金やプログラムに利用する。地区は、DDFを使用して補助金やプログラムに参加することができる。

	使 途
①	<p>地区補助金に使用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●DDFの50%以内の額をもって、地区が財団に一括申請する。 (申請時に、使用計画書を提出し、 審査を受ける。) ●クラブは地区に地区補助金個別プロジェクトを申請し、地区より補助金を受け取る。補助金額は地区が審査する。
②	<p>クラブや地区が計画するグローバル補助金事業の資金(DDFの50%以内の額)として使用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●クラブがDDFを使用する場合、DDF活用申請書を地区へ提出する。 ●地区のDDF使用計画の下で、個別プロジェクトへのDDF使用額が検討される。 ●使用の承認は、ガバナーと地区ロータリー財団委員長が行う。
③	<p>ポリオ・プラス基金 ロータリー平和フェロウシップ基金 ロータリー平和センター恒久基金 へ寄贈する。</p> <p>※ポリオ・プラス基金・・・2021年7月以降、WFからの上乗せを100%から50%に引き下げ</p>

地区財団活動資金(DDF) の繰越金に関する制限

地区財団活動資金(DDF)の繰越金に関する制限

- ・各年度末に5年を超えて未使用であるDDFは,地区の裁量で,ポリオプラス,ロータリー平和センター,恒久基金,災害救援基金,国際財団活動資金(WF)のいずれかに再配分される.
- ・再配分が最初に行われるのは,2026年7月1日.
- ・地区が2026年6月30日までに資金の配分先をロータリー財団に通知しない場合,未使用のDDFはWFに充当.

2020-2021年度、ロータリー財団管理委員会決定

未使用のDDFはどれくらいあるか

2023年7月1日現在の未使用合計額は、4,200万米ドル。過去4年間、地区は平均で、利用可能なDDFの約60%を使用してきた。

2650地区では、2024年7月1日時点の未使用総額は、**約51万4千**米ドル。

DDF収支一覧表

		中川G	佐竹G	松原G	馬場G	尾賀G	中野G	中本G (概算)	小崎G	平野G
		2018-19年度	2019-20年度	2020-21年度	2021-22年度	2022-23年度	2023-24年度	2024-25年度	2025-26年度	2026-27年度
収入	シェア額	560,738.58	603,581.92	602,829.23	587,722.18	587,475.99	564,504.47	553,160.20		
	繰越額	555,604.82	529,621.40	659,099.32	277,811.96	349,275.08	453,930.09	514,118.56		
	DDF返還額					21,865.02	0	0		
	合計	1,116,343.40	1,133,203.32	1,261,928.55	865,534.14	958,616.09	1,018,434.56	1,067,278.76		
支出	地区補助金	278,422.00	313,162.00	353,873.00	291,372.00	288,082.00	286,916.00	275,243.00		
	グローバル補助金	158,300.00	110,942.00	476,794.00	139,887.00	103,604.00	108,000.00	333,000.00	予定	
	寄贈	150,000.00	50,000.00	50,000.00	85,000.00	113,000.00	109,400.00	50,000.00	予定	
	合計	529,621.40	659,099.32	381,261.55	516,259.00	504,686.00	504,316.00	658,243.00	予定	
残額		529,621.40	659,099.32	381,261.55	349,275.14	453,930.09	514,118.56	409,035.76	予定	

2024年度グローバル補助金使用額の内、今年度福井北のトンガのDDF25,500ドルも含む詳細はSHEET2

人道的、職業研修事業（合計DDF183,000）、奨学金事業（合計DDF150,000）すべてが2024-25年度承認された場合

予定部分以外の数字は確定値です。

RIの考えとしては、今年度シェア額をまず使い切る事が前提条件と思います。

2024-25年度では、今年度シェア額はGG事業しており、繰り越し分I4-(I8+I9) -55,082.8 DDFを消化した事になります。

2026年7月1日までに,DDFを繰り越さないようにするにはどうすればよいか

- 地区補助金の全配分額を使用できるように,早めに計画を始める.
- クラブや地区が提唱するグローバル補助金の資金提供の計画の規模を拡大する.
- 奨学金の一部にDDFが含まれ,7月,8月,9月に留学を開始する奨学生の場合,6月30日のかなり前に申請書を提出する必要がある.

ロータリー 7つの重点分野

1. 平和構築と紛争予防
2. 疾病予防と治療
3. 水と衛生
4. 母子の健康
5. 基本的教育と識字率向上
6. 地域社会の経済発展
7. 環境

2026年7月1日までに承認されなかった保留中のグローバル補助金の申請書を有している場合は どうなるか

2026年7月1日時点で提出済みで未承認のグローバル補助金申請書では、繰越のDDFが使用される前に2026-27年度のDDFが使用される。

国際ロータリー第2650地区 地区財団委員会

現状と課題

今年度地区財団委員会テーマ 「財団の仕組みを知っていただく」

アクションプラン

1. e-ラーニングの導入
2. RLI方式による財団セミナーの開催
3. クラブ財団委員会による卓話
4. その他

「財団の仕組みを知っていただく」

今の地区の課題

1. なぜ、汗をかかなければならないのか？
2. 若者の活躍の場をどうやって増やすか？
3. 地域とのつながりをどうやって深めるか？
4. なぜ、外国に出かけるのか？
5. なぜ、手続きがややこしいのか？
6. なぜ、寄付するのか？

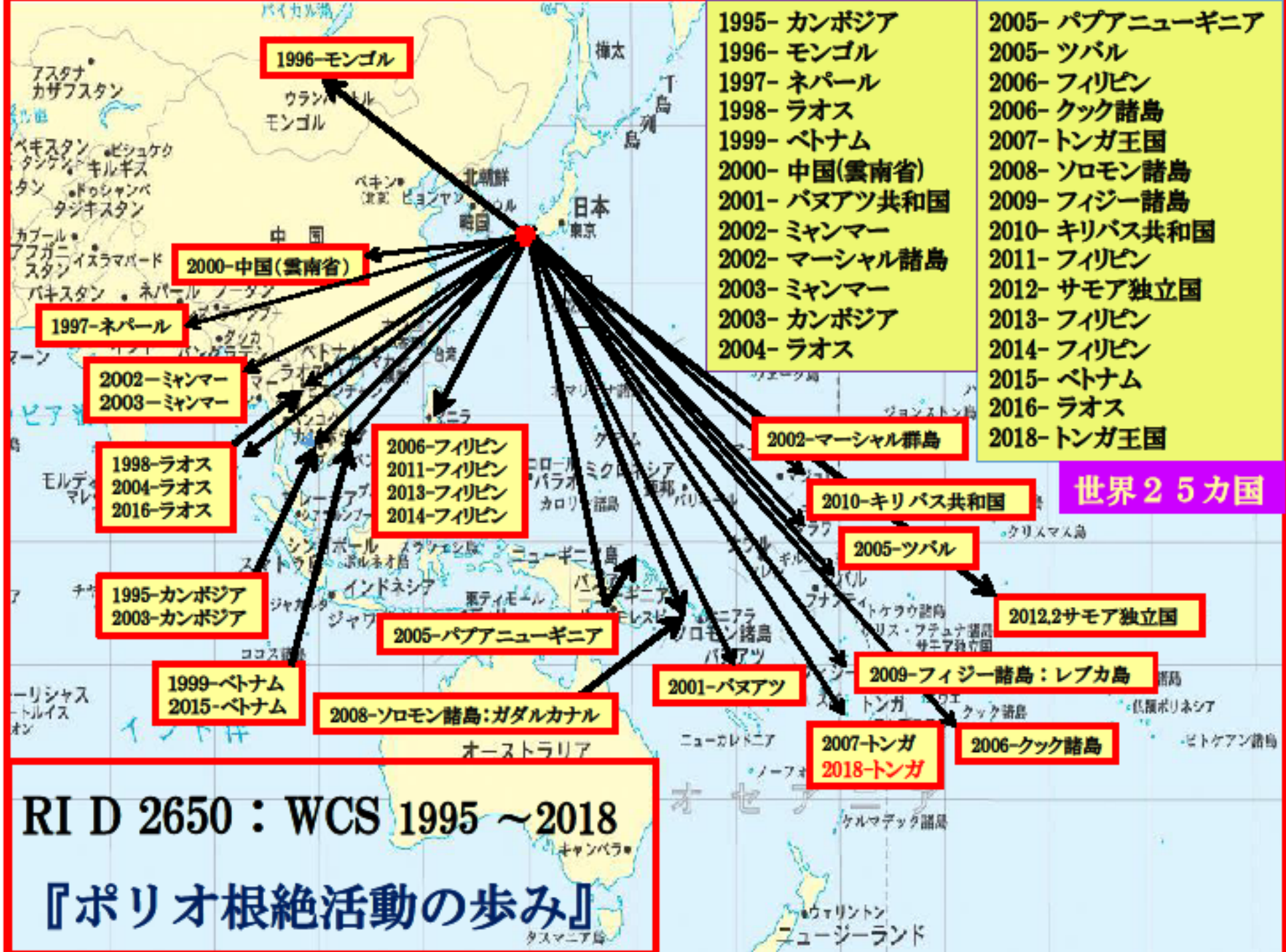
その他の課題(各委員長方針などから)

- 会員増強
- 資金推進
目標未達成が35クラブと増えた
- ポリオ
- 地区補助金 補助金の大幅なカット率
社会奉仕委員会との協力
- グローバル補助金
- 財団奨学生

年度地区支援目標

- ロータリー財団への支援
 - 年次基金 1人当たり 180ドル
 - ポリオプラス支援 1人当たり 30ドル
- 米山奨学金支援 1人当たり 24,000円
- ロータリー希望の風奨学金支援 1人当たり 5,000円

届けるだけで良いのか



RI D 2650 : WCS 1995 ~ 2018
『ポリオ根絶活動の歩み』

世界25カ国

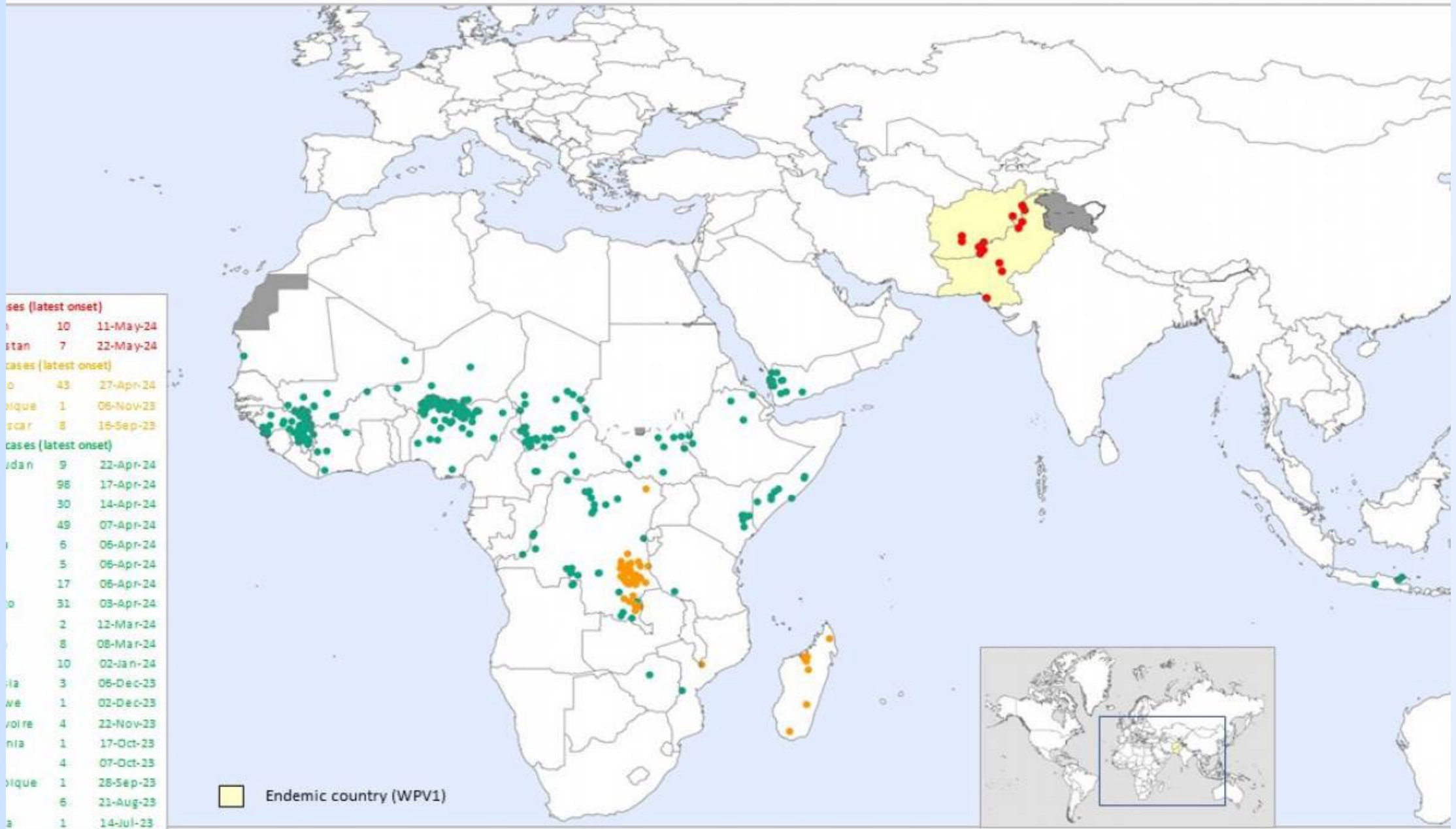


西太平洋地域における最後の患者
カンボディア, 1997年3月19日

WPROの最後のポリオ症例

1997年の3月19日,
カンボジアのプノンペン郊外
の川沿いの村で

Global WPV1 & cVDPV Cases¹, Previous 12 Months²



Country	Cases	Latest Onset
Algeria	10	11-May-24
Afghanistan	7	22-May-24
Algeria	43	27-Apr-24
Benin	1	06-Nov-23
Burkina Faso	8	16-Sep-23
Jordan	9	22-Apr-24
Libya	98	17-Apr-24
Mali	30	14-Apr-24
Morocco	49	07-Apr-24
Niger	6	06-Apr-24
Nigeria	5	06-Apr-24
Senegal	17	06-Apr-24
Sudan	51	03-Apr-24
Tanzania	2	12-Mar-24
Togo	8	08-Mar-24
Tunisia	10	02-Jan-24
Uganda	3	06-Dec-23
Yemen	1	02-Dec-23
Zambia	4	22-Nov-23
Zimbabwe	1	17-Oct-23
Democratic Republic of Congo	4	07-Oct-23
Guinea	1	28-Sep-23
Madagascar	6	21-Aug-23
Malawi	1	14-Jul-23

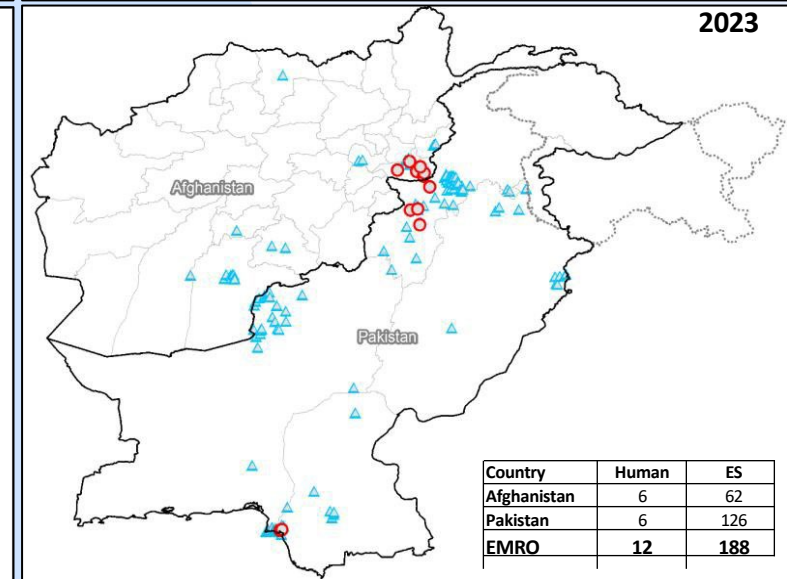
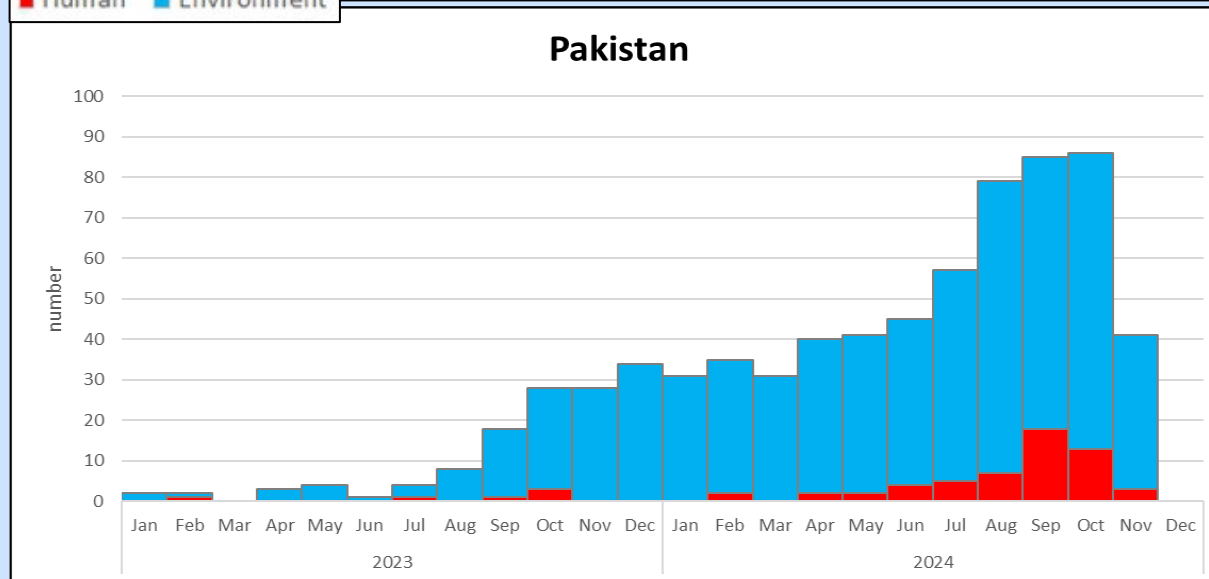
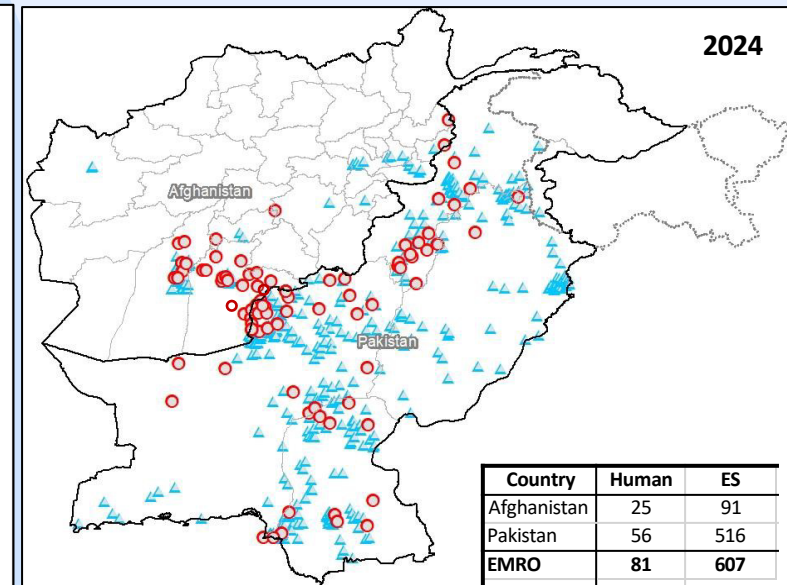
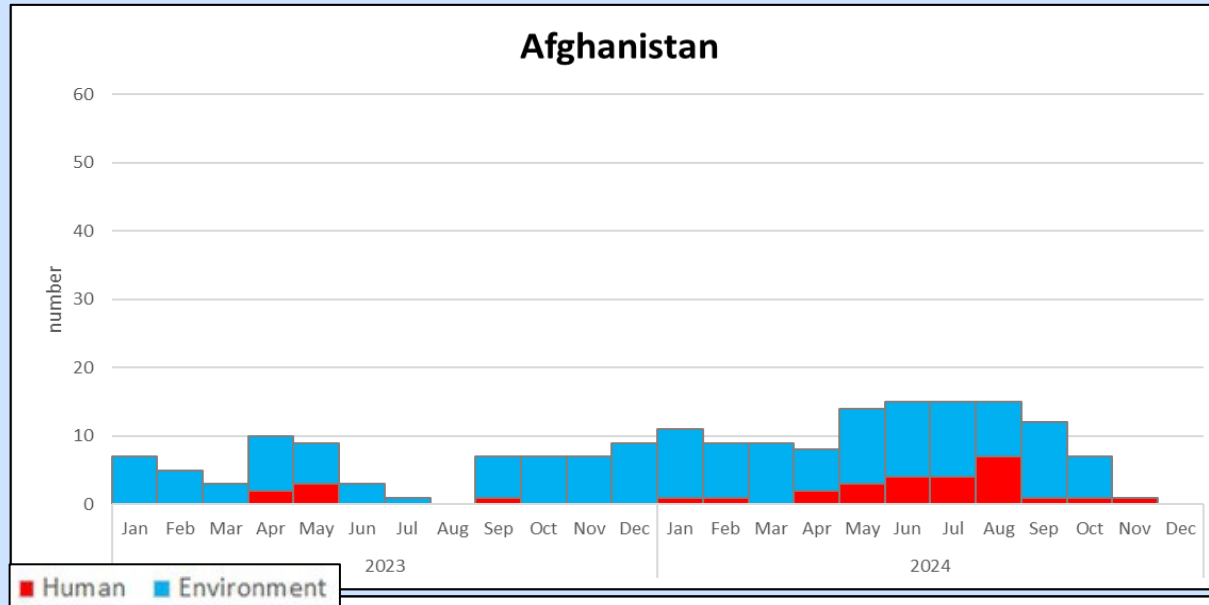
Endemic country (WPV1)

¹WPV1 cases detected from environmental surveillance; ²Onset of paralysis: 19 Jun. 2023 to 18 Jun. 2024

Data in WHO HQ as of 18 Jun. 2024

WPV1 Positive isolates from Afghanistan and Pakistan by source

EMR Polio Bulletin - Issue No. 1365, Week 48 (ending on 01/12/2024)



Virus isolation by country, last 12 months (01 December 2023, to 01 December 2024)

EMR Polio Bulletin - Issue No. 1365, Week 48 (ending on 01/12/2024)

Source / Virus type	AFG	DJI	PAK	EGY	OPT	SOM	SUD	YEM	Total
Human (AFP only)	25		56		1	6	1	38	127
Wild	25		56						81
cVDPV2					1	6		38	45
VDPV2							1		1
Environment	100	1	550	7	11	3	4	9	685
Wild	100		549						649
cVDPV2		1		6	11	3	3	8	32
VDPV2							1		1
VDPV1				1					1
cVDPV2+VDPV1								1	1
Wild+VDPV1			1						1
Total	125	1	606	7	12	9	5	47	812

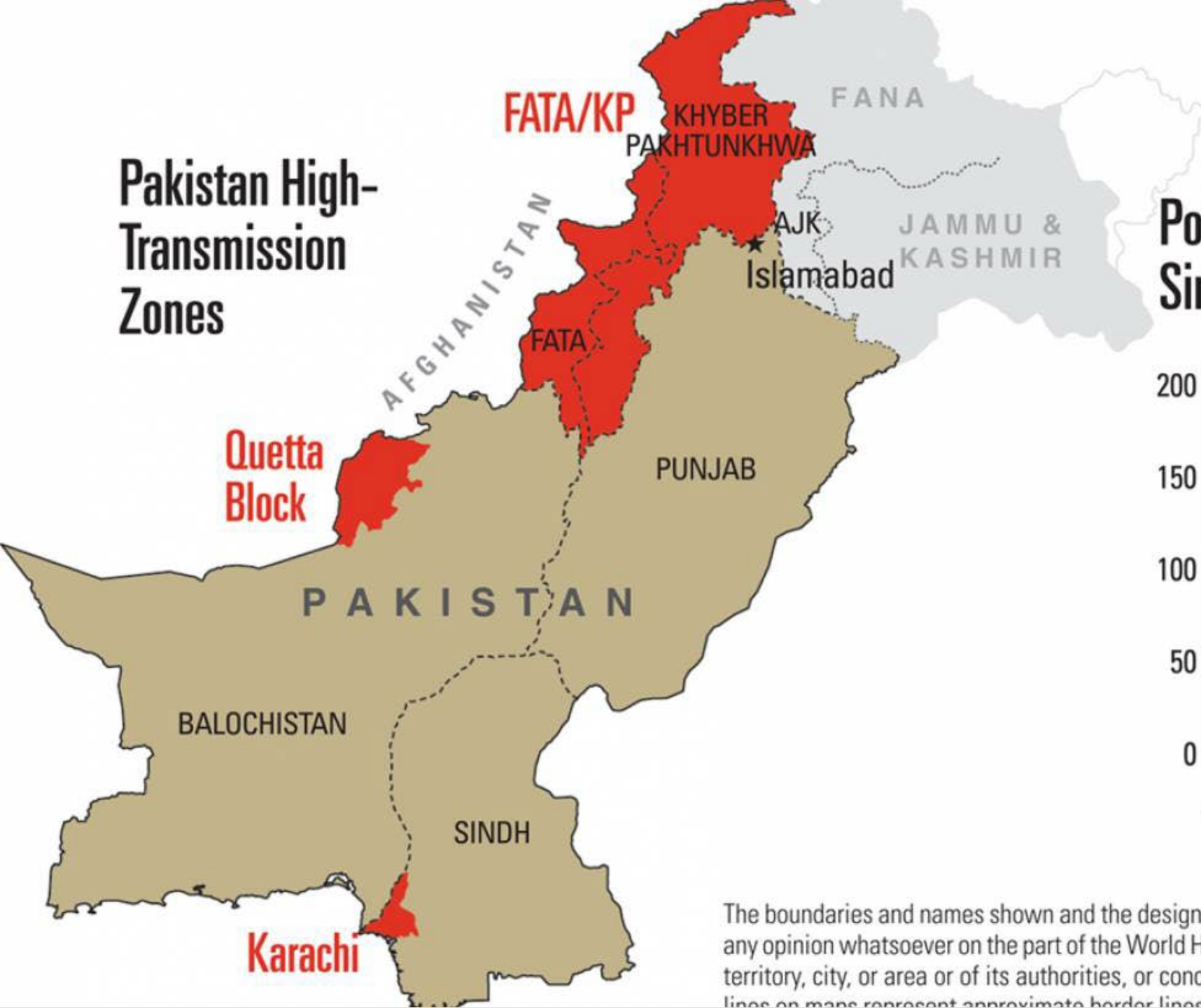
Note: Viruses isolated from 'other' sources (example healthy children) are not included in this analysis; they are shown in page No. (9)



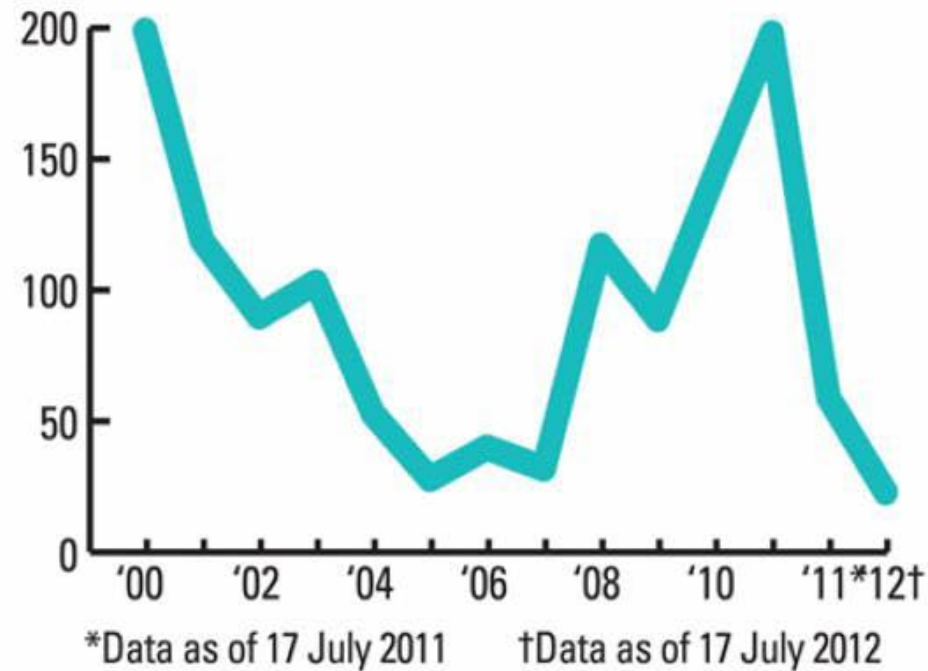
WPV Polio Cases Across Pakistan's Provinces

PROVINCE	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
PUNJAB	2	0	1	0	12	14	0	0	0	1
SINDH	12	8	2	1	30	22	0	0	2	15
KHYBER PAKHTUNKHWA	33	10	1	8	93	22	0	20	4	16
BALUCHISTAN	7	2	3	3	12	26	1	0	0	26
GILGIT-BALTISTAN	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
AZAD JAMMU & KASHMIR	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ICT	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
TOTAL POLIO CASES	54	20	8	12	147	84	1	20	6	59

Pakistan High-Transmission Zones



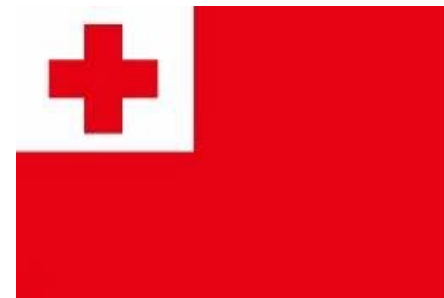
Polio Cases in Pakistan by Year Since 2000



The boundaries and names shown and the designations used in the maps above do not imply the expression of any opinion whatsoever on the part of the World Health Organization concerning the legal status of any country, territory, city, or area or of its authorities, or concerning the delimitation of its frontiers or boundaries. Dotted lines on maps represent approximate border lines for which there may not yet be full agreement.



トンガ王国







BSP

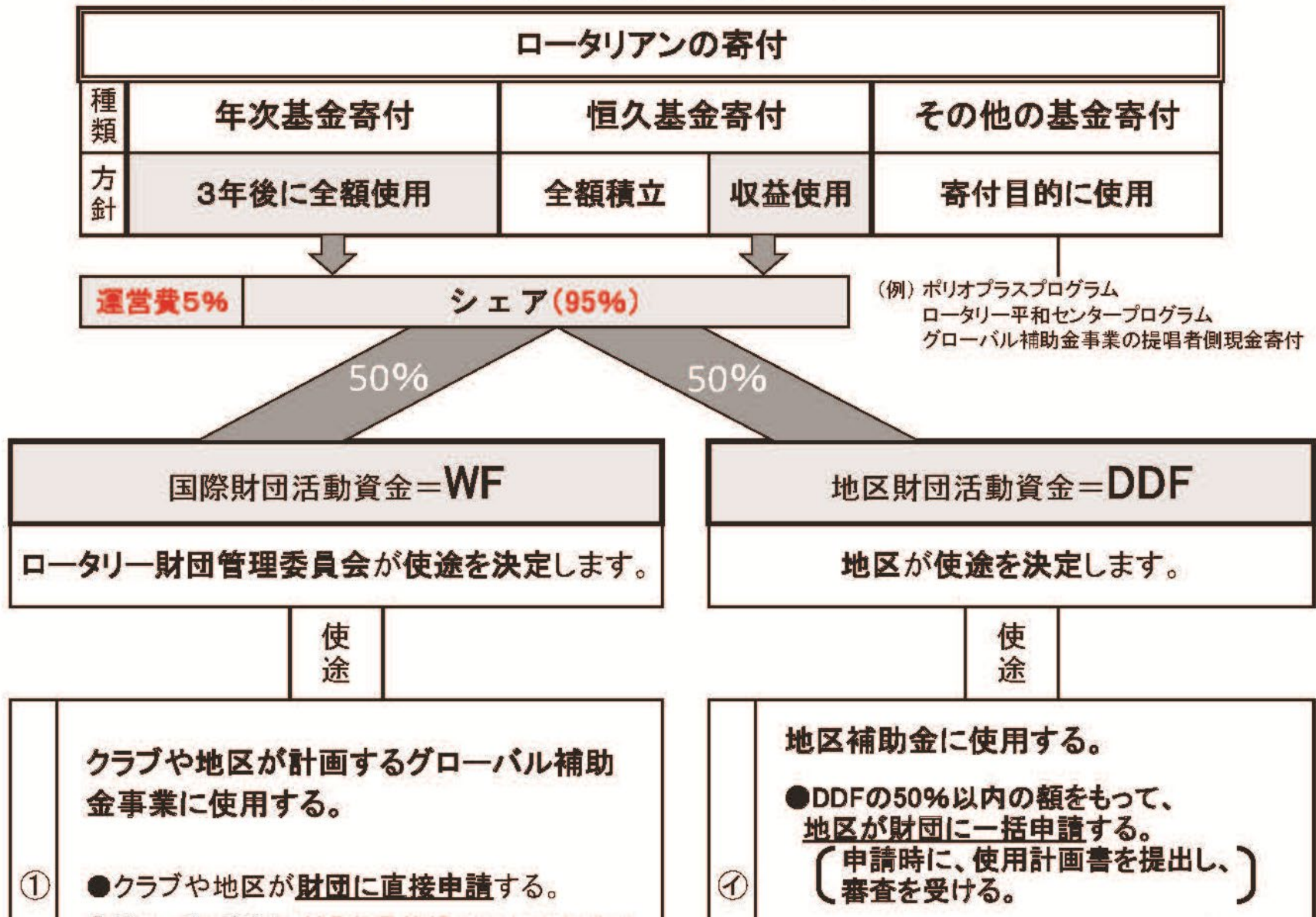
MoneyGram.
money transfer





1. シェアシステム

- ・年次基金寄付は、3年後に国際財団活動資金(WF)と地区財団活動資金(DDF)に、**運営費として5%が引き出されたあとで、WFとDDFに均等に二分されます。**
- ・恒久基金寄付は、**収益のみ**がシェアに基づき配分されます。



	使途
①	<p>クラブや地区が計画するグローバル補助金事業に使用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●クラブや地区が財団に直接申請する。 ●グローバル補助金: 対象総予算額: \$3万～\$40万 ●DDF資金に対しWFからの上乗せを、 100%から80%に引き下げ、現金拠出への上乗せは廃止
②	ロータリー平和センタープログラムに使用する。

●3年の資金サイクル

財団では、地区が十分な時間をかけてプロジェクトを計画・選択できるよう、また、投資収益を運営費(寄付推進費と一般管理運営費)に充てることできるように計画された3年間の資金サイクルを採用している。地区からの年次基金(シェア)への寄付は、3年間投資され、3年後、**運営費として5%が引き出された後**、寄付の47.5%が国際財団活動資金(WF)に、47.5%が地区財団活動資金(DDF)となる。財団は、WFとなった資金を、すべてのロータリーのため**の補助金やプログラムに利用**する。地区は、DDFを使用して補助金やプログラムに参加することができる。

	使途
①	<p>地区補助金に使用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●DDFの50%以内の額をもって、地区が財団に一括申請する。 (申請時に、使用計画書を提出し、) 審査を受ける。 ●クラブは地区に地区補助金個別プロジェクトを申請し、地区より補助金を受け取る。補助金額は地区が審査する。
②	<p>クラブや地区が計画するグローバル補助金事業の資金(DDFの50%以内の額)として使用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●クラブがDDFを使用する場合、DDF活用申請書を地区へ提出する。 ●地区のDDF使用計画の下で、個別プロジェクトへのDDF使用額が検討される。 ●使用の承認は、ガバナーと地区ロータリー財団委員長が行う。
③	<p>ポリオ・プラス基金 ロータリー平和フェロウシップ基金 ロータリー平和センター恒久基金 へ寄贈する。</p> <p>※ポリオ・プラス基金・・・2021年7月以降、WFからの上乗せを100%から50%に引き下げ</p>

ご清聴
ありがとうございました。

RI2650地区
福井フェニックスRC

松原六郎

